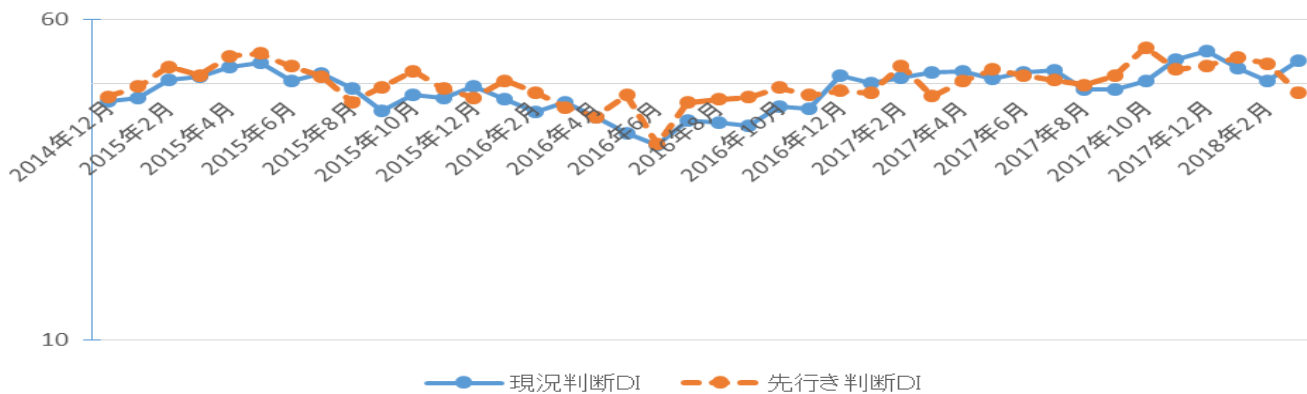


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年3月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《販売量の動き》花見や町内旅行用の飲物や菓子の売上が伸びている。高騰していた野菜の価格も平常に戻りつつあり、買い控えの様子もなく、売上は安定した推移である。【スーパー（店員）】
		不変	《販売量の動き》年度末で例年同様に落ち着いた感じではあるが、政治的にも外交的にも、また経済的にもネガティブな雰囲気から抜け切れない。【その他飲食【仕出し】（経営者）】
		やや悪	《お客様の様子》見積依頼は増加しているものの、受注件数は減少している。企業も個人客も安価な業者を探しており、しばらくこの状況が続く。【その他住宅【住宅管理】（経営者）】
	企業動向関連	やや良	《その他》年度末の決算期となり、駆け込みで単発の短期納期の受注があったり、当社もじゅう器の発注を連発している。街中では商品値引きのチラシやキャンペーンも多く目にし、消費拡大ムードとなっている。【通信業（総務担当）】
		不変	《取引先の様子》食品だけでなく日用品、雑貨消耗品等が値上がりし、賃金の上昇が間に合っていない。中小企業の昇給は年1回のところが多く、物価の上昇ペースに追い付いていない。【会計事務所（職員）】
		やや悪	《受注価格や販売価格の動き》野菜の価格は下がったが、電子機器の価格は、値引き対応でむしろ上昇している。株価の変動で経済も不安定となり、心理的な不安が企業の買い控えを後押ししている。【通信業（法人営業担当）】
	雇用関連	やや良	《求職者数の動き》新規求職者が減少傾向にあり、求人側の人手不足感が強くなっている。【職業安定所（職員）】
		不変	《周辺企業の様子》求人倍率は相変わらず高いが、再就職援助計画や大量離職届等の提出が増加している。【職業安定所（職員）】
		やや悪	《採用者数の動き》改正労働者契約法のクーリング期間の関係で、派遣労働者を他の新規派遣先へ提案することが難しくなっている。求人状況のひっ迫も重なり、採用者数が減少している。【人材派遣会社（支店長）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	新しい話題をメディアが取り上げたり、広報が増えるのはこれからなので、本格的に業況が上向くのもこれからと考える。【その他レジャー施設【鉄道会社】（職員）】
		不変	夏物のバーゲンセールに突入するが、客の好みの商品を調達できるかが問題である。メーカーも余分な商品は作らず、売れる商品は、全国どこでも在庫がすぐなくなる。【衣料品専門店（経営者）】
		やや悪	同業他社の出店による影響はもちろんあるが、ドラッグストアの食料品充実による影響が拡大している。対抗したくても人手不足で以前のように総力戦では戦えない。【コンビニ（エリア担当）】
	企業動向関連	やや良	当地域では新築物件が相次ぐが、早期完売が多い。当社もマンション、戸建て住宅の両面からの供給を予定している。【建設業（役員）】
		不変	好調な客先でも先行きに不安があるのか、内部留保を増やしている。苦戦中の客先は、設備投資や新たな事業への投資も控えめである。【会計事務所（社会保険労務士）】
		やや悪	原料は更に値上がりする可能性があるが、製品価格を上げようとする受注が減る恐れがあり、慎重にならざるを得ない。利益率はしばらく低迷する。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用関連	やや良	新卒者の入社により人手不足は若干緩和するが、まだまだ充足できない企業が多いため、劇的には変化しないものの、若干の業況回復が見込まれる。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	3月に入って就職活動がスタートしたが、既に中小企業の採用活動は例年並みに前倒して始まっており、引き続き積極的な雇用意欲が感じられる。【学校【専門学校】（就職担当）】
やや悪		2月に比べて新規求人数が16.3%減少する一方、新規求職者数が8.9%増加している。【職業安定所（職員）】	